



2020年度 第3回夢と輝きの教育推進会
2020年11月11日(水) 19:00~20:00
裾野市立南小学校会議室
司会進行 坂田教頭

- 1 開会の言葉 (市川副会長)
- 2 会長挨拶 (小柳会長)
- 3 報告事項 (進行: 三ツ石コーディネーター)
 - ① コーディネーターより
 - ② PTAより (15周年記念イベント映像視聴)
 - ③ 学校より (映像視聴)
- 4 連絡事項 (進行: 三ツ石コーディネーター)
 - ① 体罰によらない子育てについて
 - ② GIGAスクール構想について
(文科省プロモーションビデオ視聴)
 - ③ その他
- 5 閉会の言葉 (水口副会長)

昨年度の第3回推進会ではみなみっこが参加し、地域の方々と一緒に「どんな南小になったらいいか」「そうするためにはどうすればいいか」を話し合いました。大変多くの意見が出され、その意見のいくつかは実際に実現することができました。

今年度の第3回推進会は「南小開校15周年を祝う会」や学校で勉強するのは何のためなのかという問いかけに対する子どもたちの意見、来年4月から導入されるGIGAスクール構想について(文部科学省制作)を映像で見ながら意見交換が行われました。

お掃除ボランティアについて

南小では、コロナ感染防止対策の一環として、「トイレ掃除サポーター」の皆さんによるトイレ清掃が10月28日より開始。(毎週月、水、金曜日13:25~14:00) またトイレ清掃用品寄付の協力の声掛けをしたところ、たくさんの用品が集まりました。



皆さん
ありがとうございます
ございます



報告事項① コーディネーターより 三ツ石コーディネーター

南小事例発表を行ってきたことについて

11月6日 静岡県総合教育センターにて
「地域との繋がりによって見ることができた子どもたちの成長」「南小ならではの地域活動やPTA活動」について(教員向け研修)事例報告

心強い南小の応援団

○時間をかけて子どもたちを見守り続けてくださっている地域
開校から続いている地域の方々の日々のご支援によって南小の子どもたちは他者を思いやる気持ちや、多様性に富んだ豊かな心が確実に育っている。学校運営を理解し、学校と子どものために意見し動いてくれる。支援の数も形も多種多様。

○学校の要望に適宜対応する体制の南小PTA活動
南小には「南小サポーター」と、「ダディース」という組織がある。週末のうさぎの世話、学校のトイレ清掃、校外学習時の見守り、運動会等の学校行事の必要などところへの協力を行っている。

以上のことについて様々な事例を南小の代表として発表してきました。

参加された学校の先生方からは「地域全体のコミュニティ意識の高さですね。」「これって持続可能な地域づくりですね。」「こういった環境で育った子は一度外に出てきくと戻ってきますね。」といったご意見をいただきました。

今、南小は県の
モデル校として
注目を浴びて
います。



毎日欠かさず早朝から立哨指導。「いってらっしゃい。」「いってきます。」



ムクロジの枝です。15周年のイベントで植える予定でしたが、気候がまだ暖かすぎるので植える時期を見合わせていました。またコロナ感染状況が心配なので作業を延期しています。まだ植えられないので土屋さんが学校に枝や種を持って来ていただきました。



子どもたちと一緒に漢字検定の勉強をしてくださる地域の皆さん!



グラウンド遊具のペンキ塗り、運動会の会場設置、用具運搬、依頼があれば地域のお祭りに賑やかに出店も!(今年は活動少なくて、もっとやりたい!)

報告事項② 宮崎PTA会長

「PTA主催 南小15周年を祝う会」開催
(映像視聴)

- 地域の方から寄贈していただいた樹木の贈呈式
- バルーンリリース



令和2年10月3日、南小開校15周年をお祝いするイベントを開催しました。当日は、地域の皆様から贈呈していただいた記念樹を植樹するとともに、子どもたちと地域の皆様と一緒にバルーンリリースを行いました。バルーンリリースの様子は、地上からだけでなく、ドローンを使い上空からも撮影し、350個の風船が空高く飛んでいく様子や、子どもたちの笑顔を映像に残すことができました。この映像のBGMには、開校当時から、現在南小に通う子どもたちの歌う校歌が使われています。地域の代表の皆様にご出席いただく中で、南小の開校15周年をお祝いすることができ、大変嬉しく思っています。これからも子どもたちと南小のことをよろしくお祈りします。

報告事項③ 学校より 鈴木校長

「学校で勉強するのは何のため？」
地域の皆さんと子どもたちで対話
したかったテーマです。

(子どもたちが考えていることを動画
で紹介。学校だよりNO13参照)



今年”毎日学校に通って学校で勉強するという日常”が突然無くなったとき、多くの子どもたちが(学校に行きたい)と願い、「家で勉強することと学校で勉強することの違い」を感じました。これはチャンスだと思いました。これまでは、「何のために学ぶのか」というような哲学的な問いは考えたことはなく、決まっているからとしか答えようがなかったことでしょう。でも、コロナ休校を体験した子どもたちならきっと「学校で学ぶ目的」について、答えを人に求めるのではなく、自分で自分なりの答えを持つことができるだろうと思ったのです。この動画で語っているように、学びとは、誰かに言われて受け身的にこなすものではなく、”自分が主体であること”世の中や未来につながるものであることに、子どもたちは気付いていました。このせっきくの気付きが実現していくような、子どもが学ぶことを本当に大事にする学校に、南小は進化していきたいと思えます。

連絡事項

- ① 体罰によらない子育てについて
- ② GIGA スクール構想について
(プロモーションビデオ視聴)

子育てを頑張るのはとてもたいへんなこと。

子育ての大変さを保護者だけで抱えるのではなく、学校や地域がみんなで子どもを育てていく。そうすることで、虐待、体罰、暴言のない社会を実現していきましょう。

(以上、厚生労働省リーフレットが配られ、皆で理解しました)

来年4月から、子どもたち1人に1台タブレットが導入されます。当初国ではGIGAスクール5年構想でしたが、コロナの影響で自宅での学びを確保すべきということで、急遽今年度中に導入することになりました。どうやって使うかはとても重要なことなので検討委員会を立ち上げて学校関係者の方々と常に情報を密にしながら進めていきます。(賀茂市議会議員)

昨年度から、南小は、家族みんなでメディアコントロールに取り組んでいます。①ゲームや動画視聴の時間をコントロールし、健康的な生活リズムを身に付けてほしい。②家族や様々な人と直接話すことを大切にしてほしいと願っています。タブレットを子どもたちが、道具としてつかいこなせるように、それが子どものためになるようにするには、**主体的にコントロールする力が必須です。**(鈴木校長)

6年生が紙粘土で作った「12年後の私」という作品です。将来の自分を思い浮かべながら制作した夢があふれる頼もしい作品ばかりです。「みんなの夢が叶いますように・・・」



次回 第4回夢と輝きの教育推進会
2月3日(水)19:00~



今年もお世話になりました。皆様どうぞ良いお年を